

『2019年5月試験対策 ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級実技模擬試験 個人資産相談業務（解答・解説）』【正誤表】

該当箇所	誤	正
10 ページ 《問 14》 解説	<p>① <u>不適切</u>。設例のケースの遺留分の割合は2分の1であり、長男Cさんの遺留分はそれに<u>法定相続分である6分の1</u>を乗じた<u>12分の1</u>である。したがって、長男Cさんの遺留分の金額は以下のとおり<u>4,000万円</u>である。</p> $4 \text{億}8,000 \text{万円} \times \frac{1}{12} = 4,000 \text{万円}$	<p>① <u>適切</u>。設例のケースの遺留分の割合は2分の1であり、長男Cさんの遺留分はそれに<u>民法上の法定相続分である4分の1</u>を乗じた<u>8分の1</u>である。したがって、長男Cさんの遺留分の金額は以下のとおり<u>6,000万円</u>である。</p> $4 \text{億}8,000 \text{万円} \times \frac{1}{8} = 6,000 \text{万円}$
10 ページ 《問 14》 解答	正解 ① <u>×</u>	正解 ① <u>○</u>

以上